



# 2012 社会館 バザー



「わたしは道であり、真理であり、命である」

(ヨハネによる福音書 14章6節)



**発行**  
**2013年1月1日 第92号**  
 社会福祉法人 名古屋キリスト教社会館  
 発行人/池田巍義  
 編集人/湧井規子  
 〒457-0805  
 名古屋南区三吉町6丁目17番地  
 TEL/052-612-3370 (本部)  
 FAX/052-611-9085  
 URL/http://shakaikan.com  
 E-mail/shakaikan@shakaikan.com

「みどり菜の花保育園」は、待機児童の増加に伴い名古屋市の賃貸物件を活用した保育所整備公募の政策の中から誕生した保育園です。市内の中でも待機児童数が最多の緑区において、働きながら安心して子どもを預ける保育園がほしい、育児休業をとっても職場復帰後の保育園がない、仕事を始めたくても子どもを預ける場所がない等、核家族化が進み子育ての援助や応援も受けられず子育てする困難さが増しています。保育園入所はお母さんの切実な願いです。

今年も社会館に関係していただく多くの方々と共に、新年の第1歩をふみ出せる事に大きな喜びを感じています。

名古屋キリスト教社会館は昨年12月、緑区鳴海町字神ノ倉に菜の花保育園の姉妹園となる「みどり菜の花保育園」を開所しました。生後8週の産休明けの赤ちゃんから3歳児まで、定員40名の保育園です。入園式には、30名の子どもたちがお父さんやお母さんと一緒に新しい門をくぐり、「みどり菜の花保育園」の子どもとなりました。初めての出会いに、顔を見合せて微笑みあう子どもたち。「これからいっぱい遊ぼうね」というメッセージが伝わってくるようでした。一人一人が大きく・たくましく成長できるように、お父さんやお母さんと子育ての喜びを共有していきたいです。11月28日の「竣工式」には、地域の皆様を始め90名を超える方々にご参加をいただきました。「子どもは宝です」の言葉を今も改めてかみ締めています。

緑区の現在の土地に定めてから、開所まで約10ヶ月間という短い期間でしたが、本当に多くの方々から力添えをいただきながら実現することが出来ました。

今、国や地方自治体の保育制度が大きく変わろうとしています。昨年8月には、消費税増税法と共に子ども・子育てに関する新しい法律が成立しました。

## 子どもたちの育つ権利を平等に

本年もどうぞよろしく  
 お願い申し上げます

現在、児童福祉法24条のもとで名古屋市には、保育が必要な子どもを保育所で保育をする義務があり、子どもたちの育つ権利を平等に保障する公的な役割があります。新しい法律では、3年後の2015年から消費税を10%に増税し、多種多様な施設や保育の形態が検討されています。家庭状況に合わせて選択肢が増えたように見えますが、保育所に必要な基準を緩めて、企業が入りやすい仕組みになっています。私たちは、子どもを商品にしてはいけなくと考えています。「みどり菜の花保育園」が始まり、子育ての輪がさらにたく強くまりました。力を束ねて、国や自治体の責任で子どもたちの育ちを守り保障する制度を充実させていきたいです。

菜の花保育園の園長になり3年目の新しい年を迎えました。かわい子も達の笑顔と、名古屋キリスト教社会館と共に働くたくさんの職員仲間が私の大きな支えになっています。

本年度もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。  
 (菜の花保育園園長 富田千栄子)

監事

評議員

専務理事  
常務理事  
評議員  
事務員

### 名古屋キリスト教社会館の使命

名古屋キリスト教社会館は、創立の精神に基づき、次の使命を担います。

1. すべての人々がかけがえのない存在として人権が保障され、自立した人間として成長していける社会を築くことをめざします。
2. 隣人とのあい、ふれあい、そだちあいを大切に、ともに地域の課題を担うことを通して福祉の輪が広がるように努めます。
3. 世界の人々との交わりを通して、福祉社会の実現のために働きます。

- |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 小林 | 磯部 | 洪谷 | 湯浅 | 小早川 | 鳥井 | 佐藤 | 岡村 | 渡辺 | 三好 | 松岡 | 藤原 | 吉田 | 武田 | 柴田 | 加藤 | 笠嶋 | 葛西 | 加藤 | 下妻 | 白藤 | 磯部 | 田中 | 内藤 | 長田 | 中村 | 近藤 | 野村 | 谷川 | 湧井 | 池田 | 鈴木 |    |
| 牙子 | 文平 | 文平 | 登江 | 弘江  | 一夫 | 智義 | 恒義 | 紀久 | 禎子 | 禎子 | 茂樹 | 節子 | 和美 | 和治 | 謙一 | 考泰 | 明修 | 幸美 | 幸美 | 幸美 | 幸美 | 昌治 | 博二 | 義三 | 圭子 | 紀子 | 直子 | 潔  | 修  | 規子 | 巍義 | 武二 |

謹賀新年

なぜこんなにも生き辛い世の中なのだろうか。冬の寒空の下、路上生活を余儀なくされている方が多くおられます。また、障がいがある理由で家族から見放された方もおられます。

懸命に努力していても、何がわたしたちの人生を狂わせるか分かりません。しかも、やり直しを受け止めてくれるゆとりが、この社会には見つけにくくなっています。

挙げればきりがなほほど福祉の課題は多岐にわたり、しかもその一つ一つが困難な内容を抱えていることが少なくありません。どうする必要があるのであるのかある程度見えていても、これに対応できるだけの手がかりもなく、無力感にとられてしまうことがあります。

聖書に記された物語の中で、イエスの後を追ってきた大勢の群衆は、なんらかの生き辛さを感じている人々でした。イエスが多くの患いを癒されたのを見て、ここまで来たのです。それぞれに独自の悩みを抱えていたのでしょうか、共通していたのが貧しさでした。今日の食べ物にも事欠く状態でした。イエスはこの群衆を見て、この人たちを食べさせるのにどうすれば良いかと弟子たちに尋ねられます。

男性だけで5000人、女性や子どもを含めるともっと多くの人々だということになります。問われた弟子のフィリポは、課題のあまりの大きさに、とても無理ですと答えることしかできませんでした。

このやり取りを聞いていたのか、一人の少年が自分の手にしているパン5つと魚2匹を提

供してもいいと申し出ます。これを取りついで弟子のアンデレは、このことをイエスに紹介しながらも、「何の役にも立たないでしょう」と、結局は取り上げようとはしません。

アンデレのこの対応は、申し出てくれた少年にどのように響いたでしょうか。あなたのしたことは、全く無意味で何の役に立たないことだ、あなたはまだ子どもだから現実的な判断ができないのも仕方がない、と少年の真心を冷笑するようなものだったであらうでしょう。

この時、少年はどのように感じたのでしょうか。弟子の反応は確かに現実的だったかもしれないし、しかし少年の思いは完全につぶされてしまいます。そして少年は学ばずして、余計なことはしないほうがいい。どんな真心も、大きな困難が

たちはだかる現実の前では全く意味をなさないのだからと。捨てられたも同然の扱いをされたパン5つと魚2匹。これをイエスが受け取られました。そして、神が豊かに用いてくださるよう感謝の祈りをささげて、皆で分かち合われました。

わたしたちは、必要とされていることの大きさ、複雑さ、心を惑わされ、自分が手にしている可能性の小ささを嘆いて、立ち止まっていることがあります。ないででしょうか。そして結果的に、その可能性を握りつぶしてしまっているのです。

繰り返して、新たな思いで、少年



「共に分かち合う」

ヨハネによる福音書6章1～15節

のように提供することから始めたいと思うのです。無謀にはなく、少年の差し出したものをイエスが用いられたような新たな展開を望みながら。福祉の世界は、このようにして開拓されてきたのではないのでしょうか。

名古屋中央教会牧師 森田 喜之

五千人に食べ物を与える

「その後、イエスはガリラヤ湖、すなわちテベリアス湖の向こう岸に渡られた。大勢の群衆が後を追った。イエスが病人たちになさったしるしを見たからである。イエスは山に登り、弟子たちと一緒にそこにお座りになった。ユダヤ人の祭りである過越祭が近づいていた。イエスは目を上げ、大勢の群衆が御自分の方へ来るのを見て、フィリポに、「この人たちに食べさせるには、どこでパンを買えばよいだろうか」と言われたが、こう言ったのはフィリポを試みるためであって、御自分では何をしようとしておられるか知っておられたのである。フィリポは、「めいめいが少しづつ食べるためにも、二百デナリオン分のパンでは足りないでしょう」と答えた。弟子の一人、シモン・ペトロの兄弟アンデレが、イエスに言った。「ここに大麦のパン五つと魚二匹を持っています。少年がいます。けれども、こんなに大勢の人では、何の役にも立たないでしょう。」イエスは、「人々を座らせなさい」と言われた。そこには草がたくさん生えていた。男たちはそこに座ったが、その数はおよそ五千人であった。イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えてから座っている人々に分け与えられた。また、魚も同じようにして、欲しいだけ分け与えられた。人々が満腹したとき、イエスは弟子たちに、「少しも無駄にならないように、残ったパンの屑を集めなさい」と言われた。集めると、人々が五つの大麦パンを食べ、なお残ったパンの屑で、十二の籠がいっぱいになった。そこで、人々はイエスのなさったしるしを見て、「まさにこの人こそ、世に來られる預言者である」と言った。イエスは、人々が来て、自分を王にするために連れて行くこととしておられるのを知り、ひとりでも山に退かれた。

菜の花保育園
地域子育て支援センター菜の花
名古屋のびのび子育てサポート事業

気軽に立ち寄れる子育てセンターをめざして！

菜の花保育園の中には、0歳から5歳までの子どもたちが通う「保育園」と、地域子育て支援センター「菜の花」があります。「地域子育て支援センター菜の花」は、未就園児を対象とした「遊ぶ会」「一時保育」「遊び場開放」等行っています。子育てセンターでは、「子育ての交流をしたい」「子育て仲間がほしい」「子どもの友だちがほしい」「友だちと遊ばせたい」とお母さんも人となりが出会う場を求めています。初めて出会うお母さん同士、気軽に声をかけ合い、子育ての楽しいことも大変なこととも共感しあう姿があります。

みどり菜の花保育園

であい・ふれあい・そだちあいを

12月1日、待ちに待った「みどり菜の花保育園」が緑区神ノ倉に開所しました。

開所から一週間。木のぬくもりと柔らかな初冬の日差しにつつまれ、元気いっぱい0歳児から3歳児まで、30名の子どもたちが遊び・生活を始めました。0歳児の子どもたちは、木の床や日差しがふりそそぐベランダで、ボールやおもちゃを目的にはいはいを楽しんでます。1歳児クラスに行くと、保育室から廊下に抜けるにじり口から出入りをして、保育者や友だちと顔を見合わせ「アハハ」と笑っていました。2・3歳児の子どもたちは園庭で土を掘り起こし、

献金・協賛報告

「協力頂いております方々のご芳名を掲載し、報告とお礼とさせていただきます。(敬称略・順不同)」

- 武田美和子、榎本久美江、真木芳子、松岡紀生、池田魏義、杉本奈津江、安井建築設計事務所、松本順子、オリエンタルビル(株)、塚田恵、原和美、尾関明、穴戸健夫、田中武之、豊島徳三、高橋昭彦、磯部徹、益田貴美子、児島美都子、土岐篤文、福井大輔、三口妙子、岩田紘一、河野登喜喜、松山良、山本吟子、高森敏子、大西良子、杉本充、仲義和、笠嶋泰石、石井要、佐方希予子、小林恵美子、和木しず子、近藤幹夫、植下信一、長谷川武夫、若園温子、大島和海、川原啓美、鶴田保子、寺川八重子、渡邊敬子、川口桂子、磯辺モーターズ、高田内科クリニック、秋野勝紀、熱田教会めぐみ会、浅野基明、鶴山邦子、名古屋聖マタイ教会、金子豊子

- 工川謙治、杉本節子、天野伊津歌、富島照男、佐々木一雄、石井要、杉本節子、松永俊文、近藤直子、田中友安、澄子、名古屋聖ヨハネ教会、勅使千鶴、大橋洋子、鳥井一夫、磯辺モーターズ、小出美智子、山本吟子、松本勝正、杉本充、小美代子、秋野勝紀、佐藤智子、高田康志、中島忍、平手幼稚園、浅井善光、天使保育園、伊東世光、希望ヶ丘保育園、堀井千代子、あかつき保育園、山中健司、稲葉地保育園、奥村紀子、中村保育園、宇都宮美智子、千草保育園、平岩恭子、シャローム保育園、渡邊さゆり、新生保育園、新生第2保育園、くらナリサリ、林小夜子、神の倉清涼保育園、奥野緑、しおみが丘保育園、中村真喜子、春華しるつち保育園、篠田日佐美、名南子どもの家、白石淑江
- 秋野勝紀、松田サチ子、田口恵美子、野木しず子、中澤洋、小林芽子、近藤京子、吉田章子、鶴田保子、渡邊敬子、川口桂子、山本吟子、杉本充、齊藤敬子、工川謙治
- 小林芽子
- 後援会献金
- 中田照子

TEL 612-5557 FAX 612-5556

TEL 612-3361 FAX 612-8893

### 名南ユースセンターACT ちどり児童会



#### みんなで育ち合う学童へ

「サツカーやるぞ〜!」高学年の一声で二斉にあそびがはじまります。技術や体力は高学年にはかなわない低学年ですが、負けずにボールを追いかけてます。いいプレーには「よくやったぞ!」失敗しても「ドンマイ!」次はこっちにパスすればいいぞ」と高学年が褒め合い、励まし合い、教え合う子どもたちです。頼られたり尊敬されたりすることで自信や自覚をもち下級生への関わりも変わってきました。低学年の子はほめられたり、励まされたりすることで「もつと頑張るぞ!」と力がわいてきます。

学童では1年生〜6年生の子どもたちが一緒に生活しています。高学年の子どもたちには「学童のみんなのために自分たちはどうしたらいいか?」ということを考え、行動できるようになってほしいと願っています。そんな上級生の姿が低学年の子どもの目標になるからです。子ども同士の関わりを大事にしなが、今年もみんなで育ち合う学童保育をめざしていきたいと思えます。

(楠木 徹)

TEL 612-1346  
FAX 611-9085

### デイサービス友・愛 配食サービスゆうの里



#### なんびとも幸福を求め手にしよう

昨年は新たな企画・行事をいくつか取り組みました。運動会はすべての利用者さんが参加できるように4日間開催です。何日も前からパン食い競争の話題で持ちきりです。「アンパン・ジャムパン・クリームパン・メロンパン...」どのパンを銜えるか? 「手は使っていないのか?」「デイサービス愛さんは練習を始めたらしい!友もやろう!」「その日は何があっても休めん!」応援の紙花づくりやポストカード作りが高まります。当日地域のパン屋さんから焼き立てパンが届きました。ロープにぶら下がるパンをめがけ「ヨイどん!」。揺れるパンをくわえようと顎が外れそうな大きな口・口・口。身体を寄せ、頬を寄せ真剣な姿にみな大笑いです。車イスの人も、足や手に麻痺のある方も、

職員とともに全員参加しました。「63年ぶりに運動会したよ!」こんなに笑ったの久しぶり!」職員さん、準備大変だったでしょう!」労いの言葉に、この仕事を与えられた喜びを感じました。憲法13条に「本人についての最善の利益」幸福追求権が述べられています。「なんびとも幸福を求め手にしよう」とする権利!があるということです。私は高齢者のみなさんが13条に守られ行使し、生きるべきと思っています。「住み慣れた地域や我が家でできるだけ暮らし続けたい」。そんなささやかな願いのお手伝いを、高齢部職員心をあわせ、今年も全力でがんばりたいと思います。

(高齢部部長)

小早川弘江

TEL 612-3077  
FAX 611-9085

### 南部地域療育センターそよ風 愛育診療所 児童デイサービスACT 子どもセンターみどり



#### 緑区東部に親子療育の場を!

この数年、初めてそよ風に相談にのられる親子の方たちが、年間400件を超える状況が続いています。親子で通う療育グループは年間200組です。特に、緑区東部は開発地域で、住宅が多く建設され人口増が著明であることの影響か、緑区からの来所者が多いのが現状です。緑区東部から南区のそよ風までは、直接通える公共交通機関もなく、車でも30分以上かかります。「気軽に通う」には、少しハードルが高いようです。

親たちが心配になった時や困った時に早期に継続した支援が大切だと、考えています。しかし、なかなか相談には行きにくく、せつかつながった親子の方たちにも、今の環境や体制ではニーズに十分お応えできない現状です。通いやすく、少しでも丁寧な療育が実践していけるように、2013年4月から徳重地域で『親子で通える療育の場』を開始することになりました。新たな事業を始めるにあたり、地域の方々と関係機関・関係者の方々にも、さらに多くのご理解とご協力をお願いします。ご指導ご助言の程をお願い申し上げます。

(相談診療部 部長 松澤裕美子)

TEL 612-3357  
FAX 612-3411

### 発達センターあつた 児童デイサービスあつた



#### 開設11年目の大きな一歩を

公立のあつた学園を「発達センターあつた」(以下、あつた)と改め、当法人が運営を開始して10年が経ちました。熱田区、瑞穂区、南区、緑区と広範囲から多くの子どもたちがおひさまいっばいの「あつた」で過ごし、たくさんあそびました。この間おひさまを守る(日照権)運動をし、子どもたちが安心して過ごせる園にしようとお父さん、お母さん方と職員、関係者が力を合わせてきた10年でもあります。

2013年は、更なる名古屋市内の療育システムの充実を目指し、「あつた」の将来方向を打ち出す年にしたいと考えています。児童発達支援センターとして、「あつた」のいいところを確認しつつ、建物が老朽化していること、発達相談や訓練が「あつた」で受けられないという課題や矛盾を明確にしつつ、こんな発達センターにしよう、とイメージを膨らませたいと思います。発達センターあつたにつながる多くの方々の力をお借りして、11年目の大きな一歩を踏み出したいと思えます。

(副園長 安藤 典明)

TEL 681-1167  
FAX 681-1178

### 発達センターちよだ 児童デイサービスちよだ



#### 東部地域療育センターの開所は、二〇一四年四月

社会館が「東部地域療育センター」の設置・運営法人に選ばれてから早くも一年がたちました。この間、建設委員会では基本設計案の検討等を行ってきましたが、新しいセンターの中核を担うべく「発達センターちよだ」の職員集団も準備を進めています。

横浜、川崎など他の都市の地域療育センターの見学、現在名古屋市内に3か所ある地域療育センターでの実習、学習会等に取り組みました。建物も、事業内容も既存のセンターと同等のものが求められています。

しかし、1980年代につくられた「地域療育センター構想」に縛られることなく、21世紀の今、求められるセンターにしたい、新しく作るものについては、地域の要望に少しでも応えられるようにと考えています。どういう建物ならば、どういう仕組みならば、どういう人の動きならば、気軽に利用してもらえるようになるのか。一人ひとりで悩み、孤立する家族を減らしたい。と考えることがたくさんあります。

その具体化が、東部地域療育センターの開所に向かうこの一年の最大の目標です。

(園長 加藤 淳)

TEL 792-7277  
FAX 792-7258

### ホーム社会館

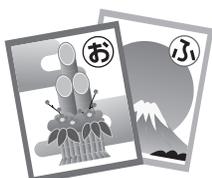


#### 次の10年にむかって いっばいっば

昨年度は、ホームでの生活が長くなった仲間たちにとつてもっと生活を広げること大切にして、小那比山の家での生活やキャンプ、40歳を迎えた仲間の旅行などを取り組みました。さらに仲間のニーズにあった日常生活、暮らしを求めて、ちよっとした買い物や散歩などの実践をすすめてきました。そして今年、認可10周年を記念して3月23日にお祝い会を計画しています。しょうがいの重い仲間たちが親元離れて自分らしい暮らしをしたいと始まったホームの生活。一人ひとりの仲間が一杯の力でいっばいっば築いてきた歩みです。次の10年

に向かつて仲間たちとコミュニケーションづくりをすすめています。仲間たちや家族、みんなの願いをいっばいっば、新しいスタートの「いっばい」の年にしたいと思います。

(支援センター部部長 湯浅 登)



TEL 613-3341  
FAX 746-0874

**障害者活動センター**  
ねーぶる



**多くの人に支えられて**

毎週木曜日、ぴぼつとの1階ホールから賑やかな声が聞こえてきます。オープンカフェの日です。ねーぶるで喫茶を取り組んできたグループが、コーヒーやジュースを販売しています。菜の花保育園やそよ風のお母さんたちが来店してくださいました。ねーぶるの仲間たちが緊張しながらも、ひとりひとりが役割をもって協力してつくる「おひーやジュース」を、「おいしい！」と仲間を声をかけ喜んでいただける機会は、とてもうれしくとても貴重だと思ふ瞬間です。

ねーぶるには重い障がいを抱える二名の仲間が通ってきます。私たちがあたりまえにして



(施設長 江尻 寛)

**ヘルパーステーション**  
ぴぼつと



**ぴぼつと開所一〇年、地域福祉の拠点に**

要町に「社会館生活支援センターぴぼつと」が開所したのは2002年12月25日です。一〇年が経ちました。「ぴぼつと(要町Dive)」という名前は、地域の障がい福祉の拠点という願いをこめて名付けられました。

ここでは障がいの重い仲間たちの自宅での入浴支援、通学・通所や休日の余暇を過ごすための外出支援などを行うヘルパー・ステーション。一泊二日のショートステイ。南区の障がいのある仲間たちやその家族からの相談を受ける南区障害者地域生活支援センター。これらの事業を展開してきました。

「どんなに障がいが増えても、地域で安心して暮らしたい。」こ

TEL 611-0707  
FAX 746-0869

TEL 613-1306  
FAX 746-0873

**お知らせ**

**東部地域療育センター 建設募金のキックオフ集会**

いよいよ、2013年度に東部地域療育センターの建設が始まります。この資金の一部を獲得する目的で募金活動が本格的にスタートしますが、その成功を期して行われるのがキックオフ集会です。是非、多数の参加をお待ちしています。

とき 2013年1月12日(土)  
午前10時～11時30分  
ところ コープあいち本山会館 4階ホール  
主催 東部地域療育センター 建設募金委員会

※この委員会は、名古屋キリスト教社会館後援会のもとに昨年設置されたものです。

**報告**

地震や津波・原発事故により愛知県に來られた人々が交流を深める行事として

①ふるさと交流会 In Nissin ～バーベキュー大会  
とき 2012年10月6日(土)  
ところ 日本キリスト教団南山教会  
参加者 県外避難者15世帯43人 ボランティア等53人

②ふるさと祭りいも煮会  
とき 2012年12月2日(日)  
ところ 発達センターあつた  
参加者 県外避難者24世帯69人 ボランティア等95人

この二つの交流行事の開催に、社会館は事務局として関わりました。それぞれに始めて交流会に参加した世帯もおられ、新たな出会いから元気ももちかえってもらいました。

**つながる・広がる・みんなの思い**

**2012 社会館バザーへのご協力ありがとうございました。**

11月23日(祝)社会館バザーが行われました。今年の中央舞台は、「みんなが主人公になろう!!」と、ちどり児童会の“Choo Choo Train”に始まり、うた・ダンス・音楽演奏・空手・和太鼓・じゃんけん大会があり、楽しい時間を過ごすことができました。

**最終収益は、817,422円でした。**

今年度は、12月1日に開所したみどり菜の花保育園と2014年4月千種区に開所する東部地域療育センターの建設資金、東日本震災復興支援活動のための資金・赤十字、ユニセフの寄付に使わせていただきます。みなさん、ご協力ありがとうございました。

**第17回 全国地域福祉施設研修会**

地域福祉施設に従事する者たちが、一同に会して、平素の働きを振り返り、福祉を必要とする人々の切実な願いに応え、更に事業内容を高めるための研修会です。

とき 2013年2月15日(金)～16日(土)  
ところ 国際ファッションセンター(東京墨田区)  
主催 日本地域福祉施設協議会 東京都東地区地域福祉施設協議会

**第53回 イースター早天礼拝**

とき 2013年3月31日(日)  
午前7時～  
ところ 名古屋中央教会 (東区久屋町8-6)



**お手軽 お料理教室**

**お正月のお餅で 簡単チョコもち☆**

材料：4個分  
切り餅…4個 一口チョコ…4個

- クッキングシートにお餅を乗せ、レンジで20秒→裏返して10秒ほど過熱してやわらかくする。(レンジによって調節してください)
- ①のお餅を取り出し、少し伸ばし広げる。
- 一口チョコを②の真ん中に置き、しっかり包み込んでできあがり♪

(活動センターねーぶる 栄養士 妹尾加奈子)

**苦情申し出の窓口**

苦情の申し出窓口は、各事業所掲示板等に掲示しています。苦情受付者は主任、解決者は事業所長が基本です。

法人への苦情は、  
本部事務局  
**612-3370**  
へお願いします。

また、法人職員ではなく、第三者の立場として苦情を受け、より良い解決へと導く立場の者として、第三者委員を選任しています。

第三者委員は、  
加藤 考一 **613-2718**  
小林 冴子 **611-0401**

**編集後記**

毎年新年号は、各事業所の新年の抱負を述べている。年々事業も増え、すべてを載せようとすると、紙面が足りないほどである。それぞれの働きが集まって社会館がある。そのことを丁寧に伝えるようとしてきた昨年。今年は、事業の働きを一方通行で伝えるだけではなく、利用者や地域の方にもっと身近に感じてもらえる社会館新聞にしたいと思う。

(A.S.)